

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.26)No.	4022-3	(H.25)No.	4022-3
-----------	--------	-----------	--------

事務事業名	社会資本整備総合交付金事業(道路新設改良)(用地対策室分)		
担当部局名	担当室名	室長名	
都市整備部	用地対策室	米山 賢	

会計区分	事業コード	392004
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 土木費	社会資本整備総合交付金事業(道路新設改良)	
項 道路橋梁費	(小事業名)	
目 道路新設改良費	社会資本整備総合交付金事業(道路新設改良)	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	2	道路整備
	小施策	2	市内道路網の整備
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
観光ルートや生活道路として重要な役割を担う各路線を整備することにより、交通便利性の向上を図り、円滑で安全な通行を確保します。
事業内容
国の社会資本整備総合交付金制度を活用し、既存道路の利便性・安全性向上を図るため、計画的に道路整備を実施します。

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.25年度(事業量・取組実績)	H.26年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	市道改良(5路線のうち用地買収・補償4路線) H24繰越 ・用地買収費 12,273千円 ・補償費等 230千円	市道改良(5路線) ・用地費 14,000千円 ・補償費 3,000千円 ・委託料 300千円 他
	H25 ・用地買収費 10,744千円 ・補償費等 26,956千円 ・委託料 951千円	

H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)	H.29年度(事業計画)
市道改良5路線 ・用地費 26,000千円 ・補償費 23,000千円		

	H.25年度(決算見込)		H.26年度(作成時予算額)		H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)	H.29年度(計画予算)
①直接事業費	(12,504千円)	38,652千円	17,300千円		49,000千円		
内訳(千円)							
国・県支出金	(6,877)	21,259	9,350		26,950		
地方債	(5,500千円)	17,300	7,900		22,000		
その他()							
一般財源	(127)	93	50		50	0	0
人工数							
職員	0.50人	0.50人	0.50人		0.50人		
臨時職員等	0.20人	0.20人	0.20人		0.20人		
②概算人件費	(4,190千円)	4,140千円	4,140千円		4,140千円	0千円	0千円
①+②総事業費	(16,694千円)	42,792千円	21,440千円		53,140千円	0千円	0千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.25年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
懸案であった案件を契約にこぎつけたため、整備効果が発揮できるようさらに買収を進めます。引き続き、地域と連携計画的な整備を進めていきます。	道路整備にあたっては、長期的な計画を策定し、重要度や優先順位を十分に考慮し、国、県の制度を活用し効果的な整備を進めます。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	地域の要望や市の計画との整合をはかり、道路環境の向上を進めます。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 検討している・今後可能性がある(※検討内容を記載→)	地域との密接な連携により事業を推進していきます。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画
観光ルートや地域間を結ぶネットワーク道路整備は、活力ある地域・よりよい生活環境の確保等重要課題であることから、引き続き計画的に取り組みます。	